

【2025LWSCT運営方針】

LWSCT出場選手の皆様、スポーツキャスティング競技愛好家の皆様へ。

2024年は台風や降雨等の悪天候で中止が多く大会開催が減少しました。

1大会の参加者数の増加はキャスティング人口全体が減ってる現在ではあまり期待出来ませんが、参加し良い易い日程・時間・場所等を設定してトータルでの参加者を増やしたいと思います。

また、楽しく競技出来るような大会運営内容にし、新規の参加者や他競技からの参加者を増やしたいと思います。

LWSCTでは年齢や性別に関係なく楽しむ為にハンデキャップを設け、誰でも気楽に参加できる大会を目指してます。個人レベルでの勧誘・宣伝も活用し、多くの参加者を迎えてを楽しみましょう。

LWSCT代表 笠間

大会趣旨
ライトウエイト・スポーツキャスティング・トーナメントは、キャスターの技術向上・スポーツマンシップの高揚・マナーの向上を目的として開催するものとする。 またキャスターの技術向上においては、国際大会で頂点に立てる選手を育成を目指すものである。

【2025LWSCT】

〔本部〕

代表	笠間	会計・保険	笠間
副代表	許田	本部事務局・競技規則	下野
相談役	長谷川	ホームページ管理	初田
相談役	崎口	会計監査	地区代表

〔地区代表〕

東日本地区	手塚	増田	
西日本地区	許田		

※敬称略

〔競技運営〕

(1) 全国でLWSCT競技を楽しむために地区大会を開催する。(地区代表者が主催・運営責任者となる)

(2) 全国大会を1年に1回開催します。

(3) 地区大会成績にポイント制を導入して、獲得ポイント数により年間ランキングを決定します。

獲得P(ポイント) = ①距離P + ②参加P

①距離P: 最長飛距離mの小数点以下を四捨五入した数値

＜配点例＞・・・95.45は95P 95.55は96P 99.50は100P 100.49は100P

③参加P = 100P

＜獲得P例＞・・・距離95Pの場合、参加100Pと合計195Pとなります。

＜獲得P例＞・・・全ての投擲がファールの場合、距離0Pで参加Pのみの100Pとなります。

※飛距離はハンデを加算した数値とします。

(4) 地区大会は参加者3名以下の場合、ポイントは付加されません。

※1 3名以下の場合記録会となりHPに掲載しません。

※2 やむを得ず大会を中止する場合は申込者全員に連絡すること。

※3 保険代を含む参加費の扱いは地区代表が決めてください。

(5) 2025年度の年間ランキングは上位5大会の合計ポイントで競います。

(どの選手も大会参加地区、参加大会数は自由です。)

※1 選手区分: シニア=S(65歳以上男子) レディース=L(16歳以上の女性) ジュニア=J(15歳以下)

※2 シニアはS、レディースはL、ジュニアはJ: 後ろに記載の数値を飛距離ハンデとして加算しています。

※3 S特はシニアですが実力が有るためハンデは有りません。

※4 Nは初参加の新人として、ハンデ5mが付加されます。(初参加した年と次年度までとします。)

・但し、2開催日で大会1位を達成した場合、以降の開催日よりN新人ハンデ5mはなくなります。

※5 N新人とSシニア・Lレディース・Jジュニアはハンデが合算されます。

(6) 2025全国大会は2025年12月に、静岡県小笠山総合運動公園エコパで開催予定。

(7) 2025年全国大会出場資格者および競技方法

●2024年および2025年大会参加者

●本部推薦選手(過去の実績およびLWSCTに貢献した選手)

●ハンデ無しで競技を行いシニア・レディース・ジュニアは別途表彰を考慮します。

(8) 地区大会運営指針(追加)

●競技前に決めた投擲順は守って各投擲ラウンドはすみやかに行うこと。

●参加人数が少なく準備時間が足りない場合は各投擲ラウンドの間に時間を取って参加者全員が投擲準備を終わらす。

※1 競技規則【ファウル】(1) 投擲順番が来ても正当な理由がなく投擲スタートができない場合。を守ること。

〔組織運営〕

- (1) 運営費用は極力押さえ、運営方針、競技規則、大会案内・結果、連絡事項はホームページまたはメールで行う。
P C環境の無い競技者には地区代表より連絡を行う。
 - ※1 L W S C T公式ホームページを公開しています。
 - ※2 選手はホームページより連絡事項・各種情報を取得してください。
 - ※3 要望、質問等は事務局宛てメールまたはホームページ掲示板にて受付します。
- (2) 地区大会開催申請(大会案内)及び結果報告・会計報告は地区代表者が所定の書式で本部事務局にメール添付で提出する。
- (3) 参加条件はキャスティングが好きでスポーツマンシップの有る人。
- (4) 他のキャスティング団体やスポーツ団体と友好的に交流します。
 - ※1 キャスティングをスポーツとして認知させたり広げるためには前向きな仲間を増やすことが必要と考えます。

〔運営経費〕

- (1) 運営費用は極力押さえる。
- (2) 地区大会開催時には参加費(会場使用料、賞品代、保険代、本部経費、地区経費等)を適宜徴収するものとする。
- (3) 地区大会参加費は地区大会運営者が設定する。(競技者が参加しやすいような費用設定にする。)
- (4) 本部経費(1大会1人=300円)・保険代(1日1人=100円)を地区大会参加費より徴収する。
 - ※1 2012年以降、保険代は年掛契約にしています。
- (5) 地区大会運営費については所定の書式で本部に会計報告を行う。
 - ※1 1開催毎の会計報告をする。
 - ※2 1日3大会でも1回、土日連続開催や全国大会等2日以上にまたがる場合でも1回です。
 - ※3 報告期限は大会終了1ヶ月以内とする。
 - ※4 本部経費・保険代・会場使用料以外の明細は必要ありません。
 - ※5 地区大会運営用賞品・用品・備品等の経費は地区で管理してください。
- (6) 全国大会運営費、本部経費及び保険代は、まとめて会計報告を行い会計監査する。

〔競技規則〕

- (1) 競技規則はLWSCT最新版ルールブックに記載しホームページで公表します。
- ※1 ルールブックだけで審判出来るように、よりハッキリした競技規則にします。
 - ※2 競技場の安全上理由等により、リーダーを太く規定するローカルルールも認めます。
 - ※3 計測等の標準化を行い、競技規則を守ってない大会は公認しないようにします。
 - ※4 将来、主審・副審・コート審判の公認を行う。

- (2) 競技規則の改訂に関しては地区代表の提案により適宜検討する。

(3) 2025 競技規則の改訂

- シンカーはフリーノットで結ぶこと。(シンカーの破損防止のため)

〔その他〕

- (1) 保険加入は義務化します。 保険名＝損保ジャパン（株）普通傷害保険（レクレーション、施設入場者を含む）
- (2) 未青年者の大会参加については、保護者の同意書を必要とする。
- (3) スポーツキャスティング競技に理解有る企業・団体に協賛・後援等を依頼する。
- (4) 競技用シンカーは当面、現行ラバーシンカーを使用。将来はより良い安全シンカーを設計採用する。
例：飛行姿勢が安定・着地時に跳ねない・視認性が良い・耐久性が有る等。
- ※1 メーカー製品を使用する限り製品が廃番になる可能性が有ります。
これはラバーシンカーに限らず全ての競技用シンカーに言えることです。
自分の楽しみであることを他人まかせでは継続的に続けることは出来ません。
型を作るのは先でも良いですがシンカーの形状研究や試作・テストは即始めなければなりません。

〔2025年予定〕

日程	内容	備考
11月	2025全国大会	参加資格は2024年2025年大会参加選手および本部推薦選手
12月	年間ランキング発表 2026運営方針まとめ	

〔今後の課題および案内〕

（１）競技参加者の拡大。

- ※１ 地区大会の活性化。
- ※２ ルアーキャスティング（シーバス、エギ、ショアジギング等）からの参加選手を広める。
- ※３ キャスティング講習会等で一般の釣り人にキャスティングの楽しみを啓蒙する。
- ※４ 新種目の検討。

（２）競技用シンカーの確保。

- ※１ 現行シマノ製シンカーは廃番になってます。
- ※２ 地区大会主催者の判断により、大会運営費でシンカーを余剰所有者より買い取り、大会参加選手には貸出し、練習用に有料で提供する。
- ※３ 色々なメーカーから18gキャスティングシンカーが発売されています。
練習には使用出来ますが代替品として大会に使用可能か検討します。

（３）地区代表や一般選手への確実な連絡手順・方法を確立する。

（４）2023年度より、リーダーに関するローカルルールの内容を変更してます。

（５）2025年度より、シンカーとリーダーの結節方法のルールを変更しています。